



こみゅーと

「コミュニティユニオン東京」ニュース N0153号 2022年11月25日
170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館1F
TEL 03-3946-9277 FAX 03-5395-3242 E-mail staff@cutokyo.jp
http://www.cutokyo.jp 「こみゅーと」ラテン語「流れを変える」
「こみゅーと」バックナンバーをホームページで読めます

一歩ずつ確実に組織建設 組合員みんなに呼びかけて 拡大月間（11月12月）を成功させよう



10月10日秋の活動者会議 ラパスホール

秋の拡大運動は本番に入りました。11月16日現在26人の新しい組合員を迎えました。目標は6%100人です。到達26%。達成支部はあだち、中野の2支部です。それぞれ目標を2倍に引き上げ、ひきつづき奮闘しています。

最近、事務所への問い合わせ、相談の電話が増えています。パワハラで体調を崩されている人、出勤できず休んでいる人、事務所で泣き出す人もいます。物価高、コロナ感染の再拡大など労働者への負担はさらに高まっています。

拡大月間は11月、12月の2か月間。支部で拡大月間について話し合い、計画や目標を決めましょう。組合員みんなにニュース・リーフ、憲法署名など渡し参加・協力を呼びかけましょう。この機会に相談員を増やしましょう。組合員みんなに呼びかけましょう。

憲法公布記念日
国会前に4200人
武力で平和は作れない
憲法改悪阻止、軍拡反対！



〈支部大会開かれる〉

第13回定期大会開催
組合員が集まって、3年ぶり
CU品川



10月30日（日）14時より、品川労協のすぐ近くの大崎第2地域センターで、第13回定期大会を開きました。

池野委員長の「前回より残念ながら後退した。過去最高の75名を早く超える組織にし、青年労働者を増やそう」との挨拶の後、来賓の品川労協柴山事務局長、CU東京の高木書記長から、ミニ講演と挨拶をいただきました。

佐藤書記長から経過・会計報告・方針・役員が一括提案されました。CU東京の拡大月間提起（11月～12月）での目標4名の達成をやり、次大会までに80名を。区内での存在感を高め、共済の良さやレクを通じての仲間を増やす事。レクを大いにやりたいなどが報告・提起された。

その後の質疑では、「組合員交流は、組合員同士の連帯が芽生える」「国労OBがアスベスト裁判やっている、ご支援を」「解雇され改めて労働基準法の学習が大切と分かった」などが出されました。

終了後、労協2階に移り、お弁当と飲み物で1時間の交流会を行い、自己紹介も含め内容の濃い交流になりました。

- 委員長 池野隆
- 副委員長 船津斌滯
- 書記長 佐藤盛雄
- 執行委員 丹伊田 恵寿 高畑 稔
南 陳栄
- 会計監査 武田よね子

第13回定期大会開く
15周年を170人で迎えよう
CU江戸川



第13回定期大会を11月8日（火）6時30分からグリーンパレス芙蓉で17人の出席のもとで開きました。

小久保議長を選出し、来賓の区労連宇田川議長、CU本部高木書記長、江東支部新野委員長から挨拶を頂き、議案を新木書記長が提案し、質疑で決算の予算執行率表示の要望、パワハラなくす江戸川の会の結成と取り組みの発言があり、拍手で議案は可決されました。

最後に、秋の拡大月間目標の9人に対し2人加入で達成目指し「月内に1人以上に声をかけよう」と訴えがあり、2年後の結成15周年を170人以上の組合にしようと「団結ガンバロー」を三唱しました。

また、委任状には「CUは、働く者の希望です。未入会者へCUの存在をもっと広めたいです。」「アルバイトであっても臨時支給を受けられるとのこと。楽しみにしています」「ニュースをいつもありがとうございます。時給1500円ほしいです。この物価高では」という言葉が寄せられています。

以下の方々が役員として選出されました。

- 委員長 高梨 俊一
- 副委員長 影山 政行 飛鳥 文代
- 書記長 新木 輝代
- 執行委員 小林 隆明 村越 拓也
加藤 隆哉 三枝 繁

〈交流〉 バーベキュー交流会 文京支部



10月22日は風もなく青空が広がりました。コロナ感染の第7波も収まってきたころを見計らい、バーベキュー交流会が開かれました。参加者は17人、ユニオンちよだからも、4人参加してくれました。

今年も人気は、石巻の牡蛎づくし、生あり、酒やワイン、で味付けした熱々の牡蛎を次々にたிரらげて大満足。肉や野菜は前日に組合事務所で用意したものも含め、十分な分量でみんなおなか一杯。もちろんビール、酒、焼酎なんでもあり（チョット買すぎ？）小さい子が3人参加していたので、委員長がお相手し、周辺で鬼ごっこ。

さて肝心の組合員の交流ですが、一人一人が自分の経験や、組合員になっての感想を述べ合いました。（はてさて、だれがどんなことを言っていたか?? 思い出せませんが）初めてであった人同士、大いに語り合い、団結を深めることができました。CU東京と言う労働組合はこうした場を持たないと、お互いに顔を知ることができない組織です。バーベキューだけでなく、交流できる機会を多く持ちたいと思いました。

（文京支部 山田三平）

はたらく女性の東京集会

第8回ははたらく女性の東京集会（主催 同実行委）が11月5日にエデュカス東京とオンライン併用で開催され、130人が参加。フィナン

「ルー随想 —ジェンダーを考える—

「これが本当の私だと
思いました。」

伊東弘子(文京支部)

旧姓使用が社内で認められた相談者の言葉です。名前は自己のアイデンティティーにかかわる問題だと、改めて理解できる深い言葉だと思います。

結婚して当たり前のように夫の姓を名乗るものだと疑わない人がいる中で、彼女は、「何か変だ。」「どうして女性だけ不便な思いをするのだろう。」「男性はこんな思いには気づかない。」「女性だけが我慢をさせられている。」いろいろな思いで悩みました。

何か変だと思った時の勘は正しいのです。選択的夫婦別姓制度については、国連差別撤廃委員会からの勧告もあり、私たちは署名等の運動で頑張ってはいますが実現できていません。けれども社内の旧姓の通称使用については、声を上げれば改革できます。彼女はアドバイス通り友達に声をかけて同じ思いをしている仲間の輪を広げました。同じ思いの仲間は彼女が予想していたよりも大勢いたのです。みんなで上司に訴え、上司の賛同を得て、総務に訴え、旧姓の通称使用が認められました。

まさにエンパワーメントです。このジェンダー視点の社内改革の成功は、彼女自身も会社の女性たちも相談を受けた私もパワーと自信をつけることができました。

昔からの慣習を多くの人々が疑いもせずに従ってきた女性差別はたくさんあります。時代とともに少しずつ変わりつつありますが、何もせず自然に変化したわけではありません。

ちなみに私は「世帯主」です。なぜだと思いませんか？またの機会にお話しさせてください。

ドの理念に学び女性が働き続けられる社会の実現にむけ声をあげていこうと意思統一しました。

しずつでも意識を変えないと」「落語は笑点より面白かった」「働く現場の生の声を聞くのは重要」等の感想が寄せられました。

(女性センターニュースより)

堀内都喜子さん（ライター）の講演 フィンランド人はなぜ午後4時に 仕事が終われるのか



記念講演は、「フィンランド人はなぜ午後4時に仕事が終われるのか」の著者でもあるライターの堀内都喜子さん。ジェンダー平等、幸福度ランキング5年連続1位のフィンランドですが、はじめからそうだったわけではない。小さな国でみんなが幸せに暮らしていくために国民が積極的に社会参加して発言していくなど、仕組み構築の努力がされてきた成果だと強調。「誰ひとり取り残さない」「人が一番の資源」との理念のもと、幼少期から自分の意見を持ち、それが採用されるといった成功体験を重ねていく等の育方針は日本でも取り入れていく必要を感じました。一方で、少子高齢化など日本と同じ問題を抱えていることも知りました。

講演後はコロナ禍でのケア労働や営業、教育現場などからの会場発言や争議団紹介を行い、笹の家小夏さんのジェンダー落語も楽しみました。

「学んだだけではなく何ができるか仲間と話したい」「男女格差や若い人の活躍について少



「労働組合最強説」 東京地評青年協

11・6原宿ジャック



リレートークで労働組合をアピール

■物価高 延びる困窮の列 都庁の食品配布 利用600人台にと報じられました。毎週土曜日に開かれている都庁前で取り組まれています。10月末には600人台になりました。執行委員会では葛飾からとり組みの報告がありました。私の住む杉並でも定期的に取り組まれています。物価高は深刻です。政府、自治体の支援強化が求められています。■機関紙は組合と組合員をつなぐ大事な活動です。組織強化・拡大の重要なツール。支部からニュースが届きます。労働相談、組合員の声など励まされます。ほっかほっかの江戸川のニュース（11/20付）には11/8の支部大会、2人の拡大、労働相談、新春・ボウリング大会（区労連主催）、支部で千円補助と案内しています。■CU東京は2023年、結成して15周年を迎えます。年内に1700人組合をめざします。そのためには相談員はじめ、組織の強化がもとめられています。三多摩協議会が急増する労働相談に応えようと、年明けから労働相談員育成講座をシリーズ企画、準備しています。広大な三多摩地域に支部を確立していくことは、CUの中期目標3000人達成に欠かせない課題です。